

第 21 回美しい農村環境写真コンテスト作品評

特別審査員：田村民雄 氏 （日本写真文化協会）
（撮影者：敬称略）

★ 最優秀賞（知事賞）

「 田 植 式 」



（撮影場所：香取神宮 御神田 撮影者：小栗山 秀男）

御田植祭の情景を、アングル・構図の良い作品に仕上げております。桜の花が画面を引き立てております。神主さんの立ち位置がもう少し画面内に入ると良かったですね。一年越しの成果ですね。

★ 千葉県土連会長賞

「かかしの学校」



（撮影場所：我孫子市 撮影者：上出 善治）

的確なレンズワークで画面に奥行き感、青空と白い雲が広がり感を出し、斜光線で案山子の立体感を出しております。スズメ達もこんなに可愛い案山子では逃げ出さないのでは。

★ 特別賞

【千葉県農村振興技術連盟賞】

「夏の風物詩」



(撮影場所：八街市 撮影者：越川 美智子)

非常に涼しさを感じる透明感ある作品です。逆光での撮影で水の表情が良く表現されております。水を得て生き生きとした手前の里芋の葉がしっかりとした画面構成に役だっております。

【千葉県多面的機能推進協議会賞】

「早苗田をゆく」



(撮影場所：大多喜町 撮影者：石井 昌良)

のどかなローカル線の情景が良く写し出されております。黄色い電車と早苗田と木々の緑、鎮守様の鳥居の赤のバランスを考えて撮った作品ですね。空は半分にした方が構図的にしっかりします。

【ちば水土里支援パートナー賞】

「こんこんと湧くや」



(撮影場所：君津市小櫃 撮影者：勝間 憲一)

朽ちた自噴井戸を支える柱が、年代を感じる写真です。水の大切さは万人共通ですね。何年前の井戸かわかりませんが、当時は生活そのものの井戸だったのでしょう。写真評というより、歴史的価値観を評価したいと思います。

★ 金賞

「田んぼアート」



(撮影場所：山武市松尾町 撮影者：坂倉 徹)

今や田んぼアートは農村地方の定番ですね。農業に目を向けてもらう為なのか、農業に従事する人の癒しなのか。梅雨の晴れ間の撮影、良く撮れておりますが、もう少し左右に広く撮った方が画面に安定感が出ます。

★ 銀賞

「大地に挑む」



(撮影場所：長柄町 撮影者：牧元 晴美)

各地で子供たちに田植えを体験させる行事が行われております。我が子を撮った写真でしょうか。ワイドレンズで大胆に画面いっぱい、表情・動作を撮っております。奥の友達の姿が奥行き感を出しております。

「朝の散歩」



(撮影場所：いすみ市 撮影者：波多野 保)

霧の朝の散歩道の作品ですね。日の出前のセピア色の情景が画面いっぱいに広がり、霧に煙った背景の森が印象的です。散歩する人の気配を感じ、一斉に飛び立つスズメをタイミング良く撮っております。

★ 銅賞

「のどかな水田」



(撮影場所：柏市手賀付近 撮影者：渡部 美智子)

水門近くに集まってきた白鳥の親子を、後方に水田を配し、遠近法の構図でしっかりとした画面に仕上げしております。タイトル通りののどかな水田風景の作品ですね。水路門の画面右側の部分は無い方が良いですね。

「初めての田植」



(撮影場所：市原市島野 撮影者：池嶋 清)

田植え神事の一駒でしょうか。今、各地の小中学校で、農業の大切さを学ぶ一環として、田植えを实践させるところが増えております。初めての田植えに挑戦する子供たちの表情をもう少し表現できると良かったですね。

「秋の三島湖」



(撮影場所：君津市三島 撮影者：茅野 一雄)

光の捉え方、特に逆光に照らし出された背景の処理が良いですね。多少凧の状態の湖面に、青空と白い雲が表現されております。手前のスキの穂が遠近感を感じさせます。

★ 佳作
「わんぱく」



(撮影場所：旭市 撮影者：嶋田 洋)

子供たちは家に帰ってお母さんに叱られなかったのでしょうか。この頃はめったに見る事の出来なくなった光景ですね。巧みなレンズワークで、怖いのか気持ち悪いのか、好奇心の一瞬の表情をチャンス良く撮った作品です。

「ハウスのむこう・・・」

(撮影場所：柏市沼南 撮影者：高宮 絹子)



風のいたずらでしょうか。折角出てきた野菜の芽を心配そうに見入る農夫の姿を、望遠レンズで撮った作品ですね。この写真から農夫の表情を計り知ることはできませんが、仕草に、野菜に対する愛情を感じられます。

「棚田盛夏」

(撮影場所：鴨川市 撮影者：川嶋 康昭)



刈入れ間近であろうか。僅かに色づいてきた棚田の田園風景を、逆光で撮った作品ですね。これから作業に行くのか帰るのか、この方の立ち位置がもう少し右上に来た時が、より良いシャッターチャンスだったと思います。

「とうせんぼー」

(撮影場所：香取市山田 撮影者：西宮 明)



今ではめったにお目にかかる事の無くなった情景。ワイドレンズで極端なローアングルで興味本位の人々を背景に置いて撮ったこの写真は、非常にユーモアのある作品に仕上げてあります。背景の方々の顔を全部入れたかったですね。

「黄金の田園」

(撮影場所：印西市 撮影者：新田 幸雄)



碁盤の目のように整然とした田園風景を逆光で撮った作品ですね。これから農作業に向かうのか帰路に着くのか、静寂な空気の中にトラクターのエンジン音が聞こえてきそうな写真です。

「輝き渡る」

(撮影場所：成田市十余三 撮影者：八代 光則)



わずかに残る茜色の空の明るさと、飛行機のライトに照らされたビニールハウスを幻想的に表現した作品です。カメラ機能を熟知した撮影で、画面に飛行機の光跡を巧みに入れて動きのある構図に仕上げております。

「上総丘陵の黎明」

(撮影場所：君津市鹿野山 撮影者：小宮 晃)



霧に浮かぶ上総丘陵を目の前にした時、さぞ興奮した事と思います。このような情景はめったに出会う事はありませんね。この情景の中で、ポイントを絞って撮ればもっと素晴らしい作品になったと思います。広く撮り過ぎましたね。